

事務事業名		総合発展計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	018 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目					
	施策名	314 効率的で質の高い行政運営の推進				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) ↓ 21 年度 ~ 23 年度 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 成果重視の行政運営の推進					01	02	01	06	01
根拠法令											
所属	部課名	企画政策部 企画調整課									
	係名	企画係	電話	0192-27-3111							
			内線	230							

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ)	
・平成13～22年度を計画期間とする「大船渡市総合発展計画」が終了することから、H23年度を初年次とする新しい総合発展計画を策定する事業。 ・総合発展計画は、「基本構想(10年間)」、「基本計画(5年間)」、「実施計画(3年ごと/毎年見直し)」で構成され、このうち、基本構想及び基本計画は議会の議決事項となっている。(実施計画は別事業として評価) ・現行計画は、政策(8)-施策(37)-基本事業(97)で体系化されており、行政評価システムと連動し、毎年度評価を実施している。 ・事業費は審議会委員の報酬、一部基礎調査の委託、計画書印刷製本費など、具体的な事務内容は以下のとおり。 策定基本方針の決定、策定体制・スケジュールの決定と周知。 現行総合発展計画の総括、統計資料等基礎データの収集・分析、上位・関連計画との調整。 市民意向の把握(市民意識調査実施、市政懇談会開催(秘書広聴課担当)、審議会委員の公募、パブリックコメント実施) 庁内策定委員会、専門部会を開催し、計画案を作成。 総合発展計画審議会への諮問、市議会への説明、基本構想案・基本計画案の議決 策定後の計画書印刷製本、概要版の作成、配付等		総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 3,000 事業費計(A) 3,000 人件費 正規職員従事人数 2 延べ業務時間 2,200 人件費計(B) 8,800 トータルコスト(A)+(B) 11,800	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位		
・市民意識調査の実施、策定基礎資料の収集、分析、とりまとめ ・策定委員会・専門部会の開催、策定基礎調査の一部業者委託。 ・総合発展計画審議会委員の市民公募、審議会の設置、諮問		ア	市民意識調査送付件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	策定委員会・専門部会開催回数	回
・策定基礎資料等の分析・まとめ、市政懇談会(地区別・分野別)の開催支援 ・策定委員会・専門部会の開催、総合発展計画審議会の開催 ・基本構想案・基本計画案の作成、パブリックコメント実施、議会への説明と議決		ウ	発展計画審議会開催回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
・大船渡市総合発展計画基本構想及び基本計画		名称		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・市民意向を把握しながら、本市のまちづくりの基本的指針(基本構想、基本計画)を定める。		カ	政策数	政策
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・計画的に質の高い行政運営がなされる。		キ	施策数	施策
		ク	基本事業数	基本事業
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称		
		単位		
		サ	市民から寄せられた意見提言の件数(市民意識調査、市政懇談会、審議会等)	件
		シ	成果指標を設定した施策の割合(H21は現行計画の成果を把握した割合)	%
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度		17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円					796	352
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	796	352
	人件費		正規職員従事人数	人					2	2
			延べ業務時間	時間					500	1,500
			人件費計(B)	千円	0	0	0	0	2,000	6,000
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	2,796	6,352
活動指標		ア	件					2,000	2,000	
		イ	回					4	10	
		ウ	回					1	4	
対象指標		カ	政策					8	7	
		キ	施策					37	40	
		ク	基本事業					97	100	
成果指標		サ	件					58	500	
		シ	%					99.1	100.0	
		ス								

事務事業ID	0326	事務事業名	総合発展計画策定事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ ・現在の総合発展計画（基本構想、基本計画）とも、平成22年度で期間満了となることから、平成21～22年度の2カ年間で策定を行うこととした。	
事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・地方自治法第2条第4項で、「市町村は、その事務を処理するに当たって、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない」と規定されている。 ・「大船渡市行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」により、基本構想の策定についても議会の議決事項となっている。	
この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・市議会定例会などにおいて、地方を取り巻く環境が厳しさを増す中で、総合発展計画についても総花的な計画ではなく、施策の重点化を図るべきとの意見が寄せられている。	

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 市民の要望を的確に捉え、社会経済状況等の変化に対応していくためには、明確なビジョンが必要であり、まちづくりの基本的指針となる総合発展計画を策定することは、計画的で質の高い行政運営を推進するうえで必要であり、結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 地方自治法により、市町村総合計画の策定は、各地方自治体の責務となっている。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] → 本事業は計画策定が最大の目的であり、意図の拡充余地はない。なお、計画策定後の進捗管理は別事業「行政評価システム推進事業」で行っている。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 策定過程での市民参画の拡充、策定経過の市民への報告等を行うことにより、より市民と行政が一体となって取り組むことができる計画を策定することができる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → 当該事業を廃止すれば、市政運営の根幹となる計画が無くなることから、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] → 行政評価システム推進事業(事業ID:0325)により、現行計画の進捗状況の成果把握、課題の整理等の部分で連携して事務を進めているが、事務の統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] →
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 策定基礎データの収集、分析等、職員の手づくりにより実施することで、経費削減が可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → データ整理や資料印刷などは臨時職員で対応しており、また、行政評価結果等の既存資料を有効に活用し業務時間の短縮を図っており、必要最低限の体制で実施している。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 行政が策定する計画であり、費用負担を他に求めるべきものではない。
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	

事務事業ID	0326	事務事業名	総合発展計画策定事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>平成21年度は、市民意識調査の実施、主要統計データの収集・分析、現計画の進捗状況と課題のとりまとめなど、計画策定に係る基礎調査部分の事務を、概ねスケジュールどおり実施することができた。基礎調査のうち、業者委託部分は、専門的な部分のみに限定して委託したことにより、経費の削減を図った。</p> <p>反省点としては、市政懇談会の開催を年度後半に計画したが、新型インフルエンザの流行等により次年度に延期することとした。</p>										
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>地区別、分野別懇談会の拡充などにより、策定過程への市民参画の拡充を図るとともに、広報やホームページ等を通じて、策定経過を広く市民へ周知していくことで、有効性の改善を図る。</p> <p>計画素案、資料の作成などの業者委託を行わず職員手づくりで対応することにより、事業費を削減し効率性を高める。</p>		<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長
-------	-------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
<p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>21年度は、市民意識調査の実施、主要統計データの収集・分析、現計画の進捗状況と課題のとりまとめなど、計画策定に係る基礎調査部分の事務を実施した。なお、基礎調査のうち、業者委託部分は、専門的な部分のみに限定して委託したことにより、経費の削減を図った。</p> <p>新型インフルエンザの流行等により、市政懇談会等の開催を22年度に延期した。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>22年度において、地区別の市政懇談会や分野別の各種団体との懇談会を開催するなど、策定過程における市民参画の拡充を図るとともに、広報やホームページ等を通じて、計画策定に係るさまざまな情報を広く市民へ周知していくことで、有効性の改善を図る。</p> <p>計画素案、資料の作成などは、業者委託でなく、職員の手づくりで対応することにより、事業費を削減し効率性を高める。</p>	<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
